

令和7年度 第2回学長選考・監察会議議事録

I. 日 時 令和7年6月19日(木) 16時05分～17時37分

II. 場 所 千葉大学西千葉キャンパス 事務局棟5階第1会議室

III. 出席者 西堀(議長)、河田、黒木、塩尻、島田、宮坂
伊藤、内山、大鳥、増島、松浦、三木、和田各委員
ワザバー 大井、山本各監事、丸山事務局長
(欠席者：銭谷委員)

※下線はオンライン出席者

IV. 前回議事録について

前回の議事録(案)について、原案のとおり承認された。

V. 議 事

1. 学長の業績評価の実施について

西堀議長から、本日の業績評価のスケジュールについて説明があった後、横手学長による業績に関するプレゼンテーション及び質疑応答を行った。

主な意見は以下のとおり。(○：委員、◎：学長)

- 1年目は順調にスタートを切ったと思うが、2年目以降に改革のスピードを上げる必要があると考える。千葉大学は、何が強みで何が課題で、今後どのような所に力を入れていくべきと考えているか。
- ◎ 外部資金は急には増えないため、支出を抑えつつ、機能を保ち高める生産性の向上が必要となる。各部局で重複している業務の共通化や、AIを含めてデジタル化を進めたい。YOKOTE VISIONの「生命」、「環境」、「社会」に重きを置いて強みを伸ばしていくことが重要であり、大方針を2040年に向けた将来構想の中で定め、その後短期・中期的な計画を立てて進めていきたい。
- 採用を増やしたい大学ランキングや、一般選抜志願者数が十年連続で国立大学1位であるなど注目されているが、持続するためにどのような努力が必要だと考えるか。
- ◎ 世間から、柔軟性や課題解決力が評価されていることもあり、アントレプレナーシップセンターや各部局の取組などで更に伸ばしたい。企業の執行部との意見交換などを行っているが、学部を問わず非常に多くの卒業生が活躍している事がわかる。今後は、どのような学生が求められているのか、卒業生や学生との交流の場も設けたい。
- 次の3点についてお考えを伺いたい。
 - ① 普遍教育の全学出動態勢は部局により負担度が違う。今後、手を入れる考えはあ

るか。

- ② 全学の分野横断的な学位プログラムを作ることは考えているか。
- ③ 全員留学が進み、受入学生が増えて現場は余力が無い状況であるが、どのように考えるか。
- ◎ 次のとおり考えている。
 - ① 各部局における負担度の実態を千葉大学ポートフォリオ構築の中で把握し、資源を一体化することで皆が無理なく行える体制を検討したい。
 - ② 将来的な教員組織の統合についても議論したうえでプログラムの必要性などを検討したい。
 - ③ 大学院学生の増加は、将来構想検討の中でも非常に大きなテーマである。今後、少子化により今よりも多くの留学生の受入が必要となる。現状の受入体制の把握とともに、将来的な留学生の比率を予想し、受入態勢の拡充を検討したい。
- 次の3点についてお考えを伺いたい。
 - ① 私立大学では年内入試が増えているが、どのように考えているか。
 - ② 大学院進学率を上げるためには、何が必要だと考えているか。
 - ③ 学部・大学院5年一貫の新課程を設置する大学もあるが、どのように考えているか。
- ◎ 次のとおり考えている。
 - ① 現状の入試制度で優秀な学生が確保できているため、現時点で導入は考えていないが、今後少子化の動向等を注視していきたい。
 - ② 将来構想検討の中で議論する中心的課題であるが、社会に求められる学部生及び大学院生を育てるために何を教えるべきかという議論を進めたい。
 - ③ 特に文系学部において、導入の意義や必要性について検討している。
- 国立大学の財政状況が厳しい中、人事院勧告への対応が求められている。他の国立大学における昨年度の人事院勧告の対応状況を教えていただきたい。
- ◎ 他大学では、昨年4月より適用、あるいは昨年度途中に適用している大学もあるが、本学は今年4月より適用している。今後も、教職員がモチベーションを高めるような環境を構築していきたい。
- 次の3点についてお考えを伺いたい。
 - ① 財政状況が厳しいが、何が問題で、どう解決していくのか。
 - ② 学部の教授会へ2年に1度程度参加し、現場の教員から意見を聞く機会を設けてはどうか。
 - ③ 専門教育も大事だが、教養教育はもっと大事なので、質の高い教育をどのように行うのか。
- ◎ 次のとおり考えている。

- ① 大学運営や病院経営を改善し、寄附金を増加するなどにより解決していきたい。
- ② 新任教授との懇談会は実施しているが、より幅広い教員と意見交換する機会を持ちたい。
- ③ 普遍教育のあり方の中で議論していきたい。

質疑応答が終了し、横手学長が退室した後、業績調書、プレゼンテーション及び質疑応答を踏まえた業績評価結果について、各委員及び監事により意見交換を行った。審議の結果、「優れている」とすること及び今回から評価内容も開示することが承認された。

なお、業績調書にかかる審査結果（集計）について、事務的に体裁を整えた内容を後日各委員が確認することとなった。

最後に、西堀議長から、今回の業績評価結果について、6月26日に横手学長へ伝達するとともに、次回の経営協議会において、西堀議長より報告する旨の説明があった。

以上